

明日から夏休み

終りは始まり！スタートの時



一学期の成績通知表を渡しました。満足のいく結果だったでしょうか。評定平均を少しでもあげようと1点、2点にこだわった勉強をして成果

をあげた人がいます。他方では、体育大会以降に気が抜けるなどして、欠点をとるという不本意な結果に終わった人もいます。一学期が終わり、ほっと一息したいところでしょう。けれども、明確な目標を持っている人ほど、そんな余裕は無いと
思っているのではないのでしょうか。時間はあるようで無いものです。一学期の結果を受けて、明日から新たな気持ちで進路実現のための活動に取り組んでください。

■追認考査は必ず合格しよう！

今日、追認指導の説明会が行われ、明日からの3日間と8月末に追認指導が行われます。どの科目も追認指導での出席と課題提出を重視していますので、欠席や遅刻は許されません。そして8月末の考査で必ず合格するようにしてください。いくら進路が決まっても卒業できなければ全てが台無しになってしまいます。進路が決まっているからといって「単位認定の評価基準が甘くなったりはしない」という事を断言しておきます。

■就職希望の人へ 「やる気と覚悟」を！

就職試験まであと2か月です。この夏がまさに正念場です。すでに就職担当の先生から連絡を受けていると思いますが、8月上旬までは、求人票を閲覧し応募する企業を決め、職場見学に行き、面接練習を繰り返します。そのなかで「就職し社

会に出る覚悟」を高めていってください。面接では「やる気と覚悟」が問われます。夏休み中は、漢字や語句、現代社会、日本史、地理など、社会人としての一般教養を身につける勉強しましょう。



また、ニュース番組を見たりや新聞を読んだりする習慣を作り、社会では何が話題になり何が問題になっているのかを知っておきましょう。

■「志望理由書・自己PR完成ノート」と

添削結果を活用しよう

5月と6月の総合的な学習の時間を使って「志望動機と自己PR文」の作文の練習をしたのを覚えていますか？皆さんの書いた文章に対する添削結果が返ってきました。早速、この夏休み中に志望動機を書かなければいけない人がいると思います。そんな人は、「完成ノート」のなかの「良い文例」「悪い文例」や「自分の作文の添削結果」を参考にして、文章を考えましょう。まねる事は悪いことではありません（そのまんまはダメ）。そもそも「学ぶ事」は「まねる事」が始まりですから。自信が無ければ担任の先生に見てもらいましょう。



■進学希望の人へ 必死のパッチで頑張ろう！

○夏期講習に延べ221名が受講を申し込み 近大必勝講座に11名受講申し込み

皆さんのやる気が伝わり嬉しく思います。途中で脱落せずに最後までついて行きましょう。そして、自宅でもう一度解き直すなどしてしっかり咀嚼して血や肉にしてください。

○高い目標を掲げよう！ 目標は一般入試

模試の判定で「E」や「D」が付き、諦めてしまっている人はいませんか。現時点（6月模試）の「E」や「D」は当たり前です。現役生が伸び始めるのは秋以降、12月から1月にかけてです。6月模試で「D」や「E」がついている人でも、一般入試で合格しています。過去のデータからも明らかです。「やれば必ず合格できる」と信じて、毎日の学習内容と学習時間を決めて勉強を始めましょう。そうすれば必ず可能性が広がります。現役



生は入試の後半ほど有利と思って、苦しい夏と秋を乗り切ってください。まだ伸びきっていない秋の公募制推薦で決めずに、力の発揮

できる一般入試まで粘って欲しいと思います。

○今からでもオープンキャンパスに行こう！

オープンキャンパスに1校だけ行って志望校を決めてしまっている人がいます。もう少し視野を広げて自分の可能性を探って欲しいと思います。

「あこがれ校」「本命校」「押さえ校」それぞれ見学するのが理想です。合格すれば4年間通うのだから、しっかり見極めてください。余裕のある夏がラストチャンスですよ。

○模試を受けるとき

8月の全統マーク模試に75名が申し込んでいます。上で書いた3つのレベルで志望校をおきましょう。（必ず「あこがれ」を入れる）その際、科目不足にならないように注意すること。判定が出ません。今回の模試を申し込んでいない人は、9月の模試を必ず受けるようにしよう。

○古典・社会も今から勉強

推薦入試では受験科目が2科目で古典・漢文を除外するところが結構あります。誰も勉強は苦しいので、当面必要な2科目に絞って勉強しがちです。このような人が、推薦入試で合格できな

った場合、12月頃から1月下旬の入試までの2ヶ月ほどの期間で、日本史や古典（漢文含まれる場合もある）の受験対策を終えなければなりません。しかし、これらの科目は内容が多く2ヶ月ほどの学習では到底間に合いません。もはや「手遅れ」と言わざるを得ない状況です。そうすると受験先の選択肢が狭くなり、不本意な入試になりがちです。そうならないためにも、最初から「一般入試をめざそう」と言っているのです。

○受験科目数は少ない方が得？

例えば、英語や社会が苦手なので国語だけの1科目で受験する場合があります。受験勉強を1教科に集中できるので、高得点が狙えそうです。けれど、受験生は皆同じ事を考え、同じように勉強します。当然1科目での高得点での争いになり、少しの失敗や問題の運不運が命取りになります。

3科目型で受験した場合は、1つの科目の失敗を他の科目が補ったり、3科目がある程度得点できて、結果として合格ラインに入ったり、と言うようなことが起こります。受験科目は少ない方が有利とは限らないので



す。受験勉強は長くて辛いものですが、苦しいのは皆同じです。自分を信じて頑張ってください。

自習室を利用しよう！

「自分力向上週間」申し込みは今日中です！！

講習の空き時間待ち、講習の日の午後などに利用しよう

進路関係書類等について

■出願等で写真の必要な人は、担任の先生に申し出てください。

■調査書は8月3日以降に発行できます。早く必要な人は、7月中旬に担任の先生に申し出てください。その際「調査書発行願」(水色用紙)が必要です。

■AO入試にエントリーする人は、必ず担任の先生に言ってからエントリーすること。「AO入試受験届」を提出しなければいけません。